

～地域医療連携室を作るにあたって～

小国公立病院院長 坂本英世



今年4月、皆様の要望が強かった社会福祉士(ソーシャルワーカー)の採用が決まり、当院にも地域医療連携室を作ることができました。

現在、地方では「地域包括ケア」という言葉をよく聞きます。「地域包括ケア」とは、医療・福祉・介護のそれぞれの垣根を低くして、病院、福祉施設、そして行政が加わって、地域の高齢者の方たちが安心してその地域で暮らせるようにすることです。

小国郷には医療施設も福祉施設も充分ではありません。その限りある施設を無駄なく有効に使うために医療、福祉、行政が綿密に連絡を取っていくことが大事です。

病院でその調整をする要となるのが『医療連携室』です。

昨年6月「おぐに郷の医療をみんなで考える会」を熊本地域医療システム学講座の主催で開催しました。50名の住民の方、熊大関係者、医学生、看護学生、県、町の職員、医療福祉関係者など、約120名の方に参加頂きました。

病院に対する要望で一番多かったのが医療連携室(相談窓口)を作りたいでした。

以前より設置したいという思いはありましたが、その多くのご意見を聞いて改めて強く必要性を感じ、この4月から運営を開始することができました。医療、福祉、介護に関する事は何でも遠慮なく相談して下さい。

～目次～

- ・地域医療連携室を作るにあたって
- ・おぐに老人保健施設イベント紹介
- ・新しい先生のご紹介
- ・お知らせ①
- ・お知らせ②

ゆたあ〜と

発行
小国公立病院
0967-46-3111
おぐに老人保健施設
0967-46-6111
小国調剤薬局
0967-46-5736
ゆう薬局
0967-46-6320

10月号
平成25年10月1日

地域連携室のご案内

社会福祉士 三角 沙織 (みつかど)

- ・4月より地域連携室が開設され、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が配置されています。
- ・医療ソーシャルワーカーとは、病気や怪我によって起こる生活上の問題についてご相談をお受けし、福祉の立場から問題の解決のお手伝いをする専門の相談員です。
- ・例えば、次のようなことでお困りでしたら、お気軽にご相談ください。
- ・医療費の支払いなど、経済的な不安がある
- ・介護保険について知りたい
- ・身体障害者手帳について知りたい
- ・転院が必要で療養ができる病院や施設の情報が知りたい
- ・退院後の自宅療養や介護サービスについて知りたい
- ・誰に相談したらいいのか分からないことがある

ご利用の方法

ご相談希望の方は、主治医や最寄りのスタッフ(職員)を通して、ソーシャルワーカーをお呼び頂くか、2階の地域連携室に直接お越し下さい。訪室ができないときは、スタッフ(職員)へお申し出下さい。こちらから伺います。

ご相談は無料です。どうぞお気軽にご利用下さい。またご相談内容は秘密厳守いたしますので、ご安心ください。

地域連携室の場所：

小国公立病院 2階 (エレベーターを降りて左奥)

相談対応時間：

月～金 午前8時15分～午後5時

※都合などで遅くなる場合はご相談下さい

相談対応者：三角(社会福祉士) (みつかど)

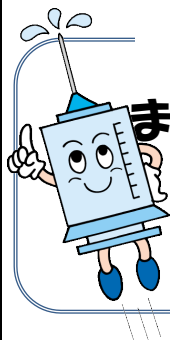


～ お知らせ

まもなくインフルエンザの季節が到来します。

受付は10月1日から始まります。

必ず予防接種を受けましょう!!



おぐに老人保健施設イベント紹介

〜夏祭り〜



8月2日におぐに老人保健施設で恒例の夏祭りがありました。ここ数年の入所者の体調を考慮し、室内で夏祭りを開催しています。

入所者や御家族の方々も一緒に楽しんで頂きました。

はじめに施設長の挨拶から始まり、両町長の時には『おぐたん』『キヨラスキー』もステージに登場し、大盛り上がりで夏祭りが始まりました。

スタッフで作った焼きそばやたこ焼き等はなかなか好評でした。

片岡先生率いるくまモン隊？が登場し、みんなで体操を楽しみました。

入所者による「ヤクルト早飲み」やご家族参加による「ラムネ早飲み」、かわいい子供たちのフラダンス、高村楽団による演奏など、時間が過ぎるのを忘れ、参加した全員が楽しみました。

そして締めくくりは、毎年恒例の花火大会。

皆様のご協力のもと、大盛況で今年の夏祭りを終えることができました。

(老健職員 仮屋・松崎)



9月11日に敬老会がありました!!

市原保育園の子ども達がお祝いに来てくれました!!



新しい支援内科先生の紹介です!! (H25年10月~12月勤務)

氏名：甲斐 健一
生年月日：昭和61年1月24日
専門分野：内科全般
経歴：広島大学医学部卒
趣味：ドライブ



小国でやりたいこと：
温泉巡り
ひとこと：
3か月間頑張ります。

九月一日におぐに老人保健施設で敬老会がありました。今年度は、入所利用者十四名、通所利用者十五名が表彰の対象となり、この日通所を利用された方の五名を合わせて一九名が表彰されました。
お祝いに、市原保育園の園児四十名が来られ、歌にあわせた踊りを披露して頂きました。
大勢の子供と接する事がほとんど無いため、四十名の園児の踊りを見て、皆さん普段以上の笑顔で楽しく過ごされていました。

(老健職員 仮屋・松崎)

〜 お知らせ ②

熊本県国保連合会ホームページの「広報 国保くまもと」に『地域医療の現場から(小国公立病院)』が紹介されています。

詳しくは・・・ [国保くまもと](#) [検索](#)



次回12月号は12月1日発行予定です。
お楽しみに!!

